

質の高い緩和ケアの提供に向けて －自己の課題と計画－



国立病院機構九州がんセンター
緩和ケアセンター看護師長
がん看護専門看護師
安永 浩子

目 標

- 看護師一人ひとりの実践が、緩和ケアの質の改善につながっていることを理解することができる
- 緩和ケアの質を向上させるためのアプローチ方法について理解することができる
- 自分が所属するチームが提供する緩和ケアの質を改善するための具体的方策について考えることができる

内 容

- 質の高い緩和ケアを達成するために看護師が理解しておくこと
- 緩和ケアの質の向上のためのアプローチ方法
- 緩和ケアにおける自己の課題と行動計画



内 容

- 質の高い緩和ケアを達成するために看護師が理解しておくこと
- 緩和ケアの質の向上のためのアプローチ方法
- 緩和ケアにおける自己の課題と行動計画



質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアとは

- 質の高い医療を提供する
- 患者の 苦痛症状を緩和する
- 多職種と連携し、包括的なケアを提供する
- 患者・家族が これから起きる症状の変化や事態に
対応できるように支援する
- 患者の 希望を尊重したケアを提供する
- 患者・家族が適切な リソースを活用できるように
支援する
- 患者が 最期までその人らしく生きることを支援する

(Americans for Better Care of the Dying HP: Action Guides, Making promises)

日本人が望むエンド・オブ・ライフ

対象：一般市民2,584名、緩和ケア病棟遺族513名

日本人の多くが共通して大切にしていること

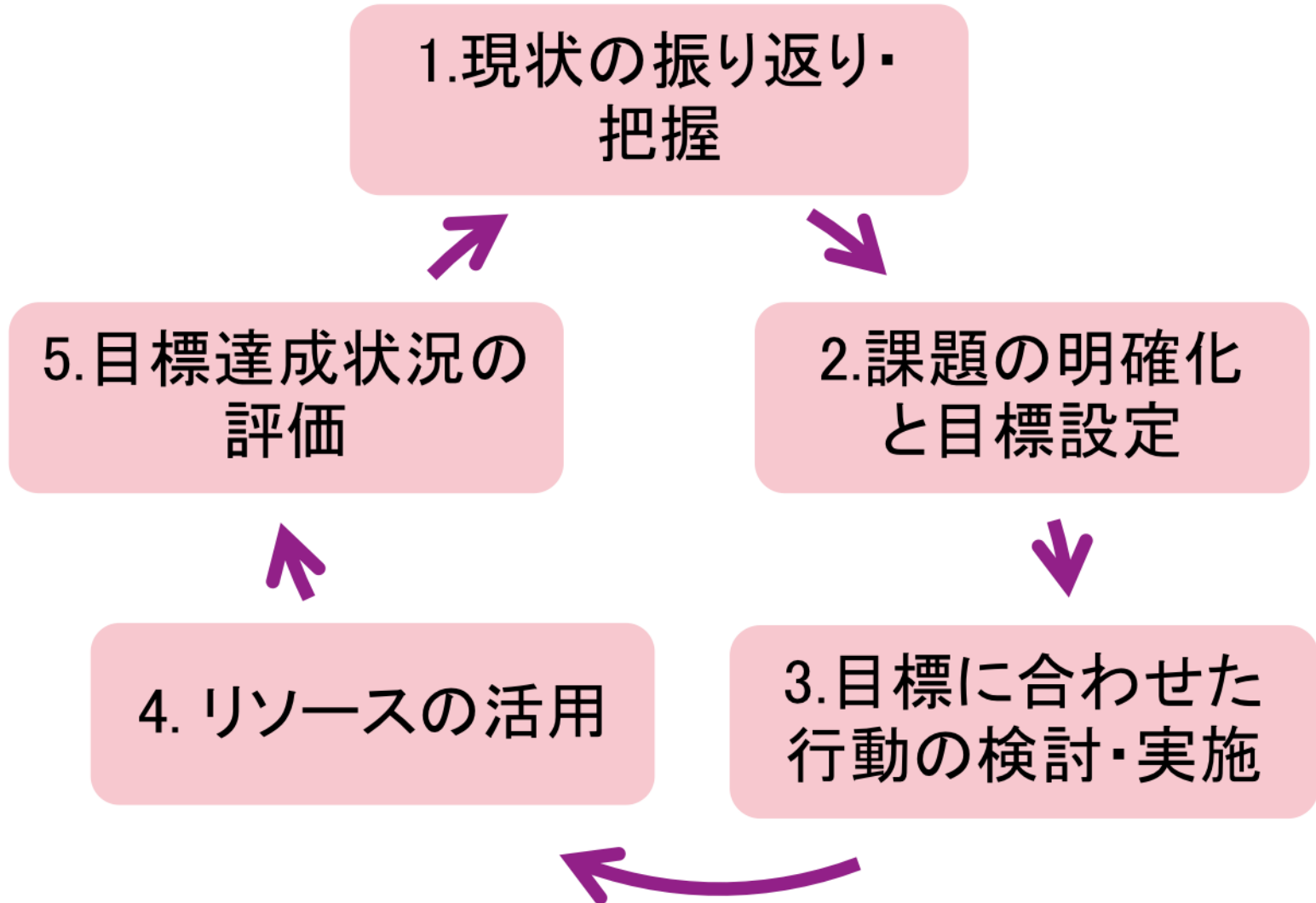
- 苦痛がない
- 望んだ場所で過ごす
- 希望や楽しみがある
- 医師や看護師を信頼できる
- 負担にならない
- 家族や友人と良い関係でいる
- 自立している
- 落ち着いた環境で過ごす
- 人として大切にされる
- 人生を全うしたと感じる

人によって重要さは異なるが、大切にしていること

- できるだけの治療を受ける
- 自然な形で過ごす
- 伝えたいことを伝えておける
- 先々のことを自分で決められる
- 病気や死を意識しない
- 他人に弱った姿を見せない
- 生きている価値を感じられる
- 信仰に支えられている

(Miyashita M et al., 2007)

質の高い緩和ケアケア達成に向けた取り組み



臨床でのエンド・オブ・ライフ・ケアを振り返ってみましょう！

- 患者・家族は提供されるケアに満足していますか？
- 自分たちの提供するケアに自信を持っていますか？
- ケアの中でうまく行えていることは何ですか？
- もう少し改善できるとよいと思うことは何ですか？

具体的な目標を設定する

- 自部署全体でこうなりたいいなあという課題や目標は？
 - チームの目標を達成するために、あなた個人ができること・目標は？
-

内 容

- 質の高い緩和ケアを達成するために看護師が理解しておくこと
- 緩和ケアの質の向上のためのアプローチ方法
- 緩和ケアにおける自己の課題と行動計画



リソースを活用する

■ チームの活用

■ 人的リソースの活用



チームの活用

- 所属施設のチームの力を見直す！
 - ➡ チームの強み・弱みを知る
- 仲間を集め、鍵となる人物に働きかける！
 - ➡ 同じ志を持つ仲間を集める
 - ➡ 戦略上、鍵となる人物を見つける



カンファレンス

- チームメンバーが持つ情報の共有や意見交換、意識統一を図るうえで重要である
- 何のためにカンファレンスを行うのかという目的を明らかにしたうえで、カンファレンスに臨むことが大切である

＜カンファレンスの4つの要素＞

議題・参加者・雰囲気・司会

よりよいケアを見出し、ケアの質の向上につながる

人的リソースの活用

■ 専門看護師

がん看護, 家族支援分野, 在宅看護, 慢性疾患看護
精神看護, 小児看護, 地域看護, 老人看護 など

■ 認定看護師

緩和ケア, がん性疼痛看護, がん化学療法看護,
認知症看護, 訪問看護, 皮膚・排泄ケア,
慢性呼吸器疾患看護, 摂食・嚥下障害看護分野など

■ 緩和ケアに関して専門性の高いスタッフ・チーム

緩和ケアチーム, 栄養サポートチーム, 歯科
医師, 呼吸療法士, リンパ浮腫セラピスト など

コンサルテーション

- コンサルテーションは、患者のケアを改善するためのコンサルタントとコンサルティ間の相互作用のプロセスである



コンサルティ
(スタッフナース など)

対等なパートナーとして、
共に問題を明らかにし、
計画・実施



コンサルタント
(専門看護師, 認定看護師
専門チーム など)

コンサルティに必要な能力・姿勢

- コンサルタントとは対等であることがわかっている
- 効果をあげることができる問題や事例を選ぶ力がある
- 状況を要約して述べることができる
- 多くのアドバイスの中から適切なものを選ぶ力を持っている
- アドバイスを実行する力を持っている
- 依存的になりすぎず、実践の責任は自分にあることを忘れない

目標達成状況を評価する

- 目標達成状況の評価の方法は、ケアの現状を把握する方法とほぼ同様
 - カンファレンスでの意見交換
 - スタッフからの個別の聞き取り
 - スタッフへのアンケート調査
 - 診療録や看護記録からの情報収集 など
- 「何を」評価するかは、行動前の状況や目標に沿って決定

質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアがもたらすもの

- 患者のQOLの維持・向上
- 患者・家族のケアに対する満足感の向上
- 医療スタッフ相互の信頼感の向上
- 医療スタッフの自信、やりがい・意欲の向上

看護師がリーダーシップを発揮するために

■ エンド・オブ・ライフに関わる看護師にはチームの中でリーダーとしての役割がある



● 看護師は医療者の中で最多数の職種である
(約152万人:日本)

● 看護師は患者ケアの鍵となる役割がある

● 看護師がリードすることで、健康促進を可能にすることができる

● 看護師がリーダーシップを発揮することで、他分野との連携を図り、質の高いケアを作り上げることができる

(厚生労働省,2018)

内 容

- 質の高い緩和ケアを達成するために看護師が理解しておくこと
- 緩和ケアの質の向上のためのアプローチ方法
- 緩和ケアにおける自己の課題と行動計画



質の高い緩和ケアケアを
達成するために、あなたは
どのようなことに取り組みますか？

